

一中だより

令和7年5月1日

第2号



作成者：荒川区立第一中学校長 小柴 憲一

学校は社会性を養うところ

私が「社会を構成する一員としての自覚を高める」という理念をもっているということは、前回の学校だよりでお伝えしましたが、自覚を高めるためには社会性を養っていくことが重要です。

社会性を養う第一歩は、わたしは「あいさつ」だと考えています。

各ご家庭のお子様は、例えば親戚にあったときや近所の知り合いの大人の方にあつたときなどにあいさつをしているでしょうか。

幼児期から小学校低学年は、保護者の方が「ほら、こんにちはでしょ」などと促すことにより、気が付いてあいさつをするようになります。しかし、小学校高学年のころからは、恥ずかしさや照れを感じるができるようになるため、あいさつができなくなってきました。

社会人になれば職場内や近所の方とすれ違ったときなどに、普通にあいさつをするようになってきますが、そのターニングポイントが中学生からなのです。

恥ずかしさや照れを乗り越えて、あいさつすることに意義を感じて行動に移すことができるようになるのが社会性なのです。

さて、一中の子どもたちの様子ですが、私と1対1で廊下ですれ違うときに、私の目を見て、私との距離感を考えて私に聞こえる程度の声の大きさで「こんにちは」「おはようございます」と言える子どもが、2・3年生を中心に、また特に3年生に非常に多いと感じています。このような子どもたちは、あいさつに相手意識が必要であることを十分理解しているのです。だから、私の目を見るし、私に聞こえる程度の声の大きさであいさつをするのです。

次のような子どももいます。

私が教室の扉から給食の様子を見ているときに、遠くから私をじっと見ていて、私と目が合った瞬間にぺこりと会釈をする子ども。この行動も社会性が養われている証拠です。なぜなら、みんな静かにご飯を食べているときに、教室のはじから大きな声であいさつをするよりも、ぺこりと会釈をすることにより、相手意識と敬意を表しているからなのです。まさに、場にあつたあいさつの仕方だと思います。

ただし一部には、何人もの友達がいなければ声に出せない子どもや、目を合わせず「おはようございます」と言う子どもや、パフォーマンス的に「こんちわあーす」と場にそぐわない大きな声であいさつをする子どもはいますが、そのような子どもたちは上記のようなあいさつをするまでには至っていないのです。つまり、まだ恥ずかしさや照れから脱することはできていなく、社会性は十分に養われていないのだと思います。きっと、近所の方や親戚の人と会ったときには、丁寧なあいさつをすることはできないのではないかと思います。

保護者の皆様が、ご自身のお子さんが学校でどうなのかと心配されるかもしれませんが、いま述べた行動を逆に考えれば、大方の推測は付けられると思います。

地域で普通にあいさつができているお子さんは、学校でも丁寧なあいさつができていることでしょう。また、地域でのあいさつができていないお子さんは、学校では目を合わせることなくあいさつをしたり、パフォーマンス的なあいさつをしていたりすることが考えられます。

しかし、これらの子どもたちも、きっといつかは周囲からの影響を受け、自分の殻を破って社会性を養い自然なあいさつができるようになると思います。

本校は、「あいさつの一中」を校訓の1つとしていますが、最初に聞いたときは、ただ単に大きな声で「おはようございます」「こんにちは」を連呼する学校なのかなと思いました。確かに、屋外では大きな声を出してあいさつをしますが、場に応じた、そして相手に応じた品位のあるあいさつをする学校だと思ふようになりました。

とてもすてきな環境です。
「あいさつの一中」、それは社会性を養う学校のことです。

生徒総会に向けて

6月13日(金)に生徒総会が開かれます。

生徒総会とは生徒会員が学級や専門委員会などそれぞれの部署で議論し、最終的に合意形成を図る会です。

そのために、4月当初には各学級の組織が構成されました。

そして、4月17日(木)に専門委員会が開かれ、専門委員会の組織も構成されました。

専門委員会では、3年生が積極的に役員に立候補したり、1年生に仕事の内容を教えていたり、目標を立てる上では3年生がまじめな雰囲気でたくさんの意見を発言していました。さすが、生徒会の要といわれる3年生です。

これから、各委員会の活動方針・計画などをもとに議案書が作成され、各学級生徒会で議論が交わされていくこととなるでしょう。そして、生徒総会で合意形成が図られたのちは、前期の生徒会はその活動方針・計画に基づいて運営されていくことになります。

専門委員会の様子を見る限り、前期は頼れる3年生が力強くけん引していくことと思いますが、その間に2年生が育っていったらいい、後期にはバトンを受けとってほしいと思います。

明日の部活動保護者会において

5月2日(金)は部活動保護者会が開催されます。

4月18日(金)の保護者会でも触れましたが、なるべく教員が現金を取り扱う機会が減るようにしていきたいと考えております。なぜなら、授業や会議をする傍らで、しかも様々な教材や会議資料が机上にある状態で、現金を数えたり、領収書を整理・保管したり、帳簿をつけたりしていると会計事故を起こすリスクが高く、いつ起きてもおかしくないと考えているからです。

そこで、部費を徴収する部につきましては、複数の保護者の方で現金取り扱いの会計事務をしていただくと大変助かります。

また、今までも教員が部費を不適切な処理をしていたということはありませんが、現金取扱者が保護者の方になるだけで、会計事務が健全であることが保護者の方には伝わるのではないかと思います。

保護者の方も、ご自身のお仕事などがありお忙しいことは十分に存じ上げております。

ただ、もし、現金を取り扱う会計を担当していただくことができたら、ご協力いただければと思いますので、保護者の皆様同士で話題にいただければと思います。

どうかよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

●4月29日(火)に開催された第39回川の手荒川まつりに、以下の子どもたちがボランティアとして応募しました。

1年・・・田中 柊也、芳家 皐、渡・ 優月、小澤 武流、神谷 真帆、北川 粋、櫻井 音寧、小笠 柚夏、河城 優生、辻 千空桜、中根 章翔、三上 隼斗

2年・・・清水 花、竹野 鈴音、大谷 彩希、鈴木 ゆうな、平 ひよ好、武田 綾人、林 幸来、森田 結衣、青山 心優、浅野 蓮、安 書瑤、亀井 琴音、眞田 裕太、中村 夢萌

3年・・・松本 暁月、松本 健、柳沼 光、宜保 茉利郁、服部 一翔、楊 翼、河城 華生、清水 真朱、本郷 水緒、水野 栞、吉田 蒼空

●第78回葛飾区区民体育大会春季陸上競技大会・学区外の部で以下の成績を収めました。

女子中学共通走幅跳 第1位 小原 梨央南 4m28 +0.7

男子中学共通砲丸投 第3位 矢部 颯太郎 5m19